



【学習目標】

- ・日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようになる。
- ・筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをまとめることができるようにする。
- ・言葉がもつよさに気付くとともに、幅広く読書をし、国語を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。

【学習を進めるにあたって】

使用教材		
教科書	「国語四 かがやき」	(光村図書)
	「書写四年」	(光村図書)
副教材	漢字ドリル	(新学社)
	らくらくノート漢字	(新学社)

持ち物		
教科書	ノート	漢字ドリル
らくらくノート漢字	国語辞典	漢字辞典
習字道具	筆箱 下敷き	タブレット

【学習の約束】

- 前日までに学習内容を読み、疑問に思うことに印をしたり、わからない言葉を調べたりして予習をしてみましょう。
- 授業では、板書・気づいたこと等をノートに工夫して書きましょう。
- 積極的に発表して、考えを伝え合いましょう。
- ノートやプリントなどの提出期限を守りましょう。
- 学習の用意をわすれないようにしましょう。
- 次の学習の準備をしてから休みましょう。
- チャイムと同時に、授業を始められるようにしましょう。
- 呼ばれたら、大きな声ではっきりと返事をしましょう。
- 席をはなれる時は、いすを入れましょう。

【学習内容】(☆は書写)

前 期	後 期
<p>1. 白いぼうし ☆用具のじゅんび/用具のかたづけ</p> <p>○聞き取りメモのくふう ☆書くときのしせい</p> <p>2. アップとルーズで伝える ☆筆の持ち方</p> <p>○お礼の気持ちを伝えよう ☆タブレットを活用しよう</p> <p>3. 一つの花 ☆点画の種類</p> <p>○新聞を作ろう ☆部分の組み立て方(左右)「林」 ☆部分の組み立て方(上下)「雲」 ☆筆順と字形「左右」 ☆画の方向「麦」</p>	<p>4. ごんぎつね ☆平がな(折れ)「らん」</p> <p>○クラスみんなで決めるには ☆ノートの達人になろう</p> <p>5. 未来につなぐ工芸品 ☆漢字どうしの大きさ</p> <p>○伝統品のみりよくを伝えよう ☆書きぞめ「出発」</p> <p>6. 友情のかべ新聞 ☆4年生のまとめ①②「大地」</p> <p>○もしものときにそなえよう</p> <p>7. 風船でうちゅうへ ○心が動いたことを言葉に</p> <p>○調べて話そう、生活調査隊</p> <p>8. スワンレイクのほとりて</p>

【評価の観点および場面・方法】

評価の観点	評価の場面・方法
<p>知識 言葉の働きや使い方など日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けている。</p>	<p>授業での音読 音読のデータ ノート 漢字ノート 漢字ドリル</p>
<p>技能 大きさや配列などに注意しながら、形を整えて文字を書いている。</p>	<p>単元テスト 漢字小テスト ワークシート ノート 漢字ノート 漢字ドリル 作文 ふり返り 書写の作品(毛筆・硬筆)</p>
<p>思考・表現 「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を身に付けている。</p>	<p>発言・発表 授業の様子 スピーチ 単元テスト(聞くテスト) ノート</p>
<p>判断 人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをまとめ、それらを表現している。</p>	<p>作文 ノート ふり返り ワークシート 単元テスト</p>
<p>主体的に学習する態度 言葉がもつよさに気付くとともに、幅広く読書をし、思いや考えを伝え合おうとしている。</p>	<p>発言・発表 授業の様子 スピーチ 作文 ふり返り ノート 自主学習</p>